

# 市民の総力をあげて交通事故をなくしましょう！

市民運動「大綱心の交通安全プロジェクト」について



昨年1年間の本市の交通事故の発生件数は、前年を上回る445件(20件)で、傷者数536人(40人)、死者3人(2人)となっています。

警察本部の資料によると、県内18市(人口2万人以上の市)を対象にした事故発生件数の増加率は、本市が4.7ポイントでワースト1位です。さらに、前年から発生件数が増えた市も、本市のみとなっています。

この増加傾向は、今年に入っても歯止めがかからず、8月10日現在で、すでに261件(19件)、傷者数321人(27人)、死者5人(3人)に上っています。

このような危機的状況を踏まえ、警察署を中心とする各関係機関で「大綱心の交通安全プロジェクト」を実施し、交通安全に対する意識の高揚を図ることになりました。

(注)かっこ内は、前年との比較

薩摩川内市交通事故発生件数などの推移

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	前年比
発生件数	466	421	437	425	445	261	19
死者数	6	6	5	1	3	5	3
傷者数	559	530	549	496	536	321	27
物損事故件数	2247	2139	2190	2070	2011	1121	-46

(注)平成27年の件数は、8月10日現在のものです。

(注)前年比(H26年との比較)は、8月10日を基準日とした増減数となります。



## 2 期間

平成27年8月1日～平成32年12月31日まで

## 3 キャッチフレーズ

「大綱心で交通安全」

これは、本市名物でもある「大綱」との語呂合わせで、

「おほよう」から

「おやすみ」まで

常に交通安全を意識して

無くそう「交通事故」

という意味です。

\*1年は365日、本市大綱の長さも同じ365メートルです。このことから、朝起きてから夜寝るまで、常に交通安全を意識する気持ちを持って、事故の無い安全・安心な社会を築いていこうという思いが込められています。

## 5 推進事項

次の10項目です。

- 10月10日は・・・「ライト点灯の日」
- 12月10日～1月10日は・・・「5時ライト作戦」
- 毎月22日は・・・「大綱心で交通安全の日」
- 9月22日は・・・「交通事故と交通違反ゼロを目指す日」
- 10月10日は・・・「問合先」
- 薩摩川内警察署 交通課 回(20)0110
- 本庁防災安全課危機管理G 回(23)5111(内線4931)
- ①運転免許証の自主返納者にやさしい「薩摩川内市」
- ②反射材の普及で夜間歩行者を守る「薩摩川内市」
- ③前向き駐車後後退事故を防ぐ「薩摩川内市」
- ④早めのライト点灯で車が目立つ「薩摩川内市」
- ⑤飲酒運転をしない、させない「薩摩川内市」
- ⑥全席シートベルト着用、正しいチャイルドシート着用を目指す「薩摩川内市」
- ⑦暴走、爆音運転をしない、させない「薩摩川内市」
- ⑧安全運転と思いやり運転の模範を示す「薩摩川内市」
- ⑨正しい自転車乗車方法を守る「薩摩川内市」
- ⑩子供や高齢者を思いやる「薩摩川内市」

## 1 運動目標

★年間交通事故死者数0人!  
★前年の交通事故発生件数の半減!

鹿児島国体が開催される2020年までに、日本一交通事故の少ない、安全で交通マナーのよいまちづくりを目指します。

## 市内各地から



太陽に向かう一面のヒマワリ(亀山地区コミュニティセンター)

平成27年8月3日撮影

## 東京都内にて開催

### 薩摩川内港ポートセミナー



7月27日(月)、薩摩川内港の利用促進を図るため、東京都内にてポートセミナーを開催しました。薩摩川内港の港湾サービスや薩摩川内市企業連携協議会の紹介を行い、船会社・物流企業・商社など、港湾関係者140人が出席しました。岩切市長は、国際コンテナ港としての利便性向上をアピールし、「今後も更なる発展を目指して、ポートセールスに積極的に取り組んでいく」と意欲を示しました。

## 川内

## 笑顔いっぱい

### 尾白江自治会夏祭り



7月26日(日)、尾白江自治会夏祭りが開催されました。焼き鳥・かき氷・金魚すくいなどの出店や、子どもたちによるラムネの一气飲み大会・スイカ割り、大人による弾き語りや総踊りなどが行われ、会場には明るい声と笑顔が溢れていました。当日は台風12号の影響を受け、風の強い中でしたが、たくさんの来場者でにぎわいました。

【記事・写真提供】=同自治会

## 六次産業化実施計画

### 第6号・7号を承認



8月6日(木)、市役所本庁において、六次産業化実施計画承認書交付式が行われました。上甕町の甕フルーツ園(株)(写真右)と入来町の宮園謹吉氏(写真左)から申請のあった同計画を承認したものです。今後、自らが生産した農産物を活用して、新商品の開発や販路の開拓に取り組む予定です。

## 可愛赤ずきん

### ドッジボールチーム優勝報告



8月5日(水)、可愛赤ずきんドッジボールチームの監督・選手9人が来庁されました。これは、7月11日(土)に桜島総合体育館で開催された全日本ドッジボール選手権県予選で優勝し、静岡県で行われる全国大会に出場が決定したことを受けてのものです。後日行われた全国大会では、惜しくも予選リーグ敗退でしたが、今後もさらなる活躍が期待されます。

## 青少年フレッシユ体験事業

### 北海道ニセコ町と交流



7月27日(月)～31日(金)の期間、本市において、北海道ニセコ町の交流団との交流が行われました。ニセコ町の有島文学館と川内まごころ文学館は、有島三兄弟の文学館として姉妹館盟約を結び、文化交流を行っています。今回は、有島文学の学習や甕島での自然活動などを主に、子どもたちが交流を深めていました。